

## ●低水護岸の緑化

コンクリートの低水護岸が数十mも続くことは、景観的にも川の生物の生息環境としても良いとはいえない。自生植物を用いて緑化することが可能であれば、これらの問題の向上につながると考えられる。



コンクリートが露出する護岸

生物の生息空間を悪化させ、また、景観的にも良いとはいえない



植物で覆われた護岸

一面が植物で覆われているため、コンクリートが露出する護岸に比べるとより多くの生物が利用することができる。また、コンクリートが緑で覆われるため、景観的にも好ましい。